

2023. 9. 15 第75号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
https://www.kunikusa.or.jp/

題字 升味 美佐子様



コロナ禍で様々な制限はありましたが、8月24日に2年振りとなる施設内での夏祭りを開催致しました。ご利用者の方に少しでも楽しみのある生活を送って頂けるようにと、職員でコツコツ準備を進め、企画をしたイベントです。夏祭り会場となる3階フロアには手作りの出店(輪投げ、ボーリング、釣り掘りゲーム、おみくじ、綿菓子等)が並び、華やかな飾りつけによるお祭りの雰囲気会場内は笑顔溢れ、笑い声が響いていました。綿菓子



コーナーでは久しぶりに綿菓子を口にされたご利用者も多く、「懐かしいね。昔を思い出すね。」と嬉しそうに話をされている姿が印象的でした。昼食には夏祭りメニューとして、散らし寿司や焼きそば、たこ焼き等が振舞われ、食事を楽しんでいただきました。ご利用者の笑顔溢れる心豊かな時間を一緒に過ごす事ができ、職員一同、大変嬉しく感じております。(りは・くにくさ 主任支援相談員 西廻 幸平)



でじま・くにくさでは8月22日に夏の一大イベント納涼祭を開催しました。当日に向けて、各ユニットで花火や提灯、お品書きのメニューなど「夏祭り」の雰囲気を感じられる飾りつけを装飾し、準備を進めていきました。納涼祭当日は、昼食に屋台メニューの料理が提供され「焼きそばが美味しいね」「懐かしい、ご馳走じゃ」などご利用者から喜びの声を頂きました。職員も甚平、浴衣、はつぴ等に着替え、お祭りを盛り上げました。また、今年は初の試みで



夏の風物詩であるスイカ割りを実施し、ご利用者にもスイカを割って頂きました。「割れたよ！すごいね。」とご利用者も職員も大いに盛り上がり、皆様の笑顔が溢れる幸せなひと時となりました。新型コロナウイルスの影響でまだまだ制限が多い中でもご利用者にとって素敵な思い出がたくさん増えますよう、今後も様々な行事の企画を行ってまいります。(でじま・くにくさ 生活相談員 岡田 真歩)





有料老人ホームでじま・くにくさでは、7月7日の夕食に七夕特別メニューを提供しました。『皆様の願いを叶え、食事を通して笑顔になって頂きたい！』と始まったこの七夕の企画は今年で4回目となります。事前に利用者様に食べたいメニュー・願いを短冊に書いて頂き、短冊に書かれたメニューを実際にご用意し、提供する企画です。

今年も例年同様、散らし寿司・握り寿司は人気が高いメニューでした。その他にも、生きたカニ・エビが食べたい！特大プリンパフエが食べたい！シヤンパンが飲みたい！などのご希望にお応えし、普段のお食事では中々提供ができない料理も工夫を凝らしました。当日は、生きた状態の伊勢海老をユニットへお持ちし、利用者様の目の前で栄養課職員が伊勢海老を捌き、お造りをご用意するパフォーマンスも行いました。お造りが出来る上がるまでの様子を皆様食い入るように見ておられました。

また、活きが良く跳ねる車海老をガシッと掴み、「昔はよく食べていた。」とお話をされながら、慣れた手つきできれいに殻をむいて美味しそうに召し上がる利用者様の姿がとても印象的でした。

今後も様々な企画・メニューを検討していき、食事を通して皆様に喜んで頂けるよう、栄養課一同取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。

（でじま・くにくさ）

管理栄養士 柴崎 沙絵



でじま・くにくさでは、6月12日から15日にかけて『焼肉会』を実施いたしました。昨年までは、コロナ禍の関係で、各階ユニットの共有スペースにてホットプレート等を用いて焼肉会をしていました。今年も、コロナ前のように外に設置したドラム缶と網でお肉を焼き、その横で



釜でご飯を炊きました。ご利用者の皆様には、その様子をご覧いただきながら1階地域交流スペースにて焼肉会を楽しんでいただきました。

有料老人ホームでじま・くにくさの方では、5階テラスと6階レストランを開放し、青空の下で焼肉を召し上がって頂きました。久しぶりに外でお食事をされることもあり、ご利用者の皆様は大変喜ばれておられました。

今後も感染対策に気を付けつつ、ご利用者の方が笑顔になれるような行事を企画していけるよう職員一同努めて参ります。

（でじま・くにくさ）
事務 篠崎 理沙

追悼法要



7月22日、くにくさ苑で一年間にご逝去されました方々の追悼法要が営まれました。この法要は、くにくさ苑にて毎年7月に執り行われている大切な行事です。例年同様、阿戸町にあります専立寺のご住職をお迎えし、お経をあげて頂きました。本年度も、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、ご参列者の健康や安全面を第一に考えた結果、ご利用者・職員のみで執り行いました。在りし日のお姿を偲びながら焼香を行い、物故者の方々のご冥福をお祈り致しました。

くにくさ苑

生活相談員 小林 希



県立黒瀬高等学校・福祉課1年生

施設見学受入

令和5年7月4日に、黒瀬高校福祉科の1年生がくにくさ苑とりはくにくさへ施設見学に來られました。以前から毎年実施していたのですが、コロナウイルスの流行に伴い、ここ数年はオンラインで行っておいりました。実際に施設に足を運んでいただいたのは4年ぶりとなりました。

また以前は、ご利用者と一緒にレクリエーションを行っていたのですが、感染リスクを考え、この度はレクリエーションを行わず、施設の黒瀬高校OGを中心とし、グループでご利用者さんが楽しめるレクリエーションの計画を考えました。この計画に沿って、後日実際に職員がレクリエーションを実施しました。

これから福祉の道歩んでいく生徒さんにとって、有意義な体験になったのであれば、幸いです。

(求人担当 萩坂 直己)

Instagram

atokai_saiyo

48 投稿 102 フォロワー 104 フォロワー中

あとかい 採用Instagram
社会福祉法人あとかい・医療法人社団あとかいの採用担当のInstagramです！
広島市内で高齢者福祉の事業を中心に運営しています。
▶求職者に向けた就職活動イベントや就職活... 続きを読む
www.kunikusa.or.jp/recruit

プロフェッショナルダッシュボード
過去30日間に310件のアカウントにリーチしました。

プロフィールを編集 プロフィールをシェア

ストーリーズハイライト

ATOKAI_SAIYO ATOKAI_EIYO

Follow Me

Follow Me

目指せ！フォロワー数
1000人 Instagram



前回、ご紹介をした通り、現在食事に関する情報をInstagramにて、発信しております。

少しずつではございますが、フォロワーも増えてきております。変わらぬ日々の食事の情報を発信しておりますので、引き続きご覧にいただきますようお願いいたします。

また、3月よりもう1つInstagramのアカウントを作成し、情報発信しております。こちら

らは、求職者さん向けの情報を中心とした投稿を行っております。

求職者向けのイベント情報はもちろん、その他に施設のイベントや日々の場面、職員さんのインタビューなどさまざまな情報を発信しております。

日頃、施設ではどんなことが行われているのかご興味のある方はぜひご覧くださいませ。

(求人担当 萩坂 直己)

Instagram

令和4年度 事業執行状況報告

令和4年度 決算状況報告

(1) 持続可能な施設運営のための中・長期計画の策定及び財源確保

このため、リモートやSNS、ホームページ等を活用して法人、各事業所の特徴や魅力等を発信し、優秀な人材確保に努めた。職場環境の改善のためのハラスメント防止対策についてはカスマーハラスメント防止対策関連の情報収集に努めた。今後、各事業所への啓発活動につなげていく。

(2) 感染症・災害に対応する業務継続計画（BCP）の策定及び研修・訓練の実施

令和3年度の介護報酬改定において示された、業務継続計画（BCP）の策定（2024年3月期限）を進めている。本年度に引き続き次年度も、計画の策定、計画に基づくシミュレーション、研修について全事業所策定を進め、令和5年度中に完了に努める。

(3) 各施設・事業所における主体的な運営力の向上

継続的な事業展開を目指すため、各事業所は運営目標を定めて積極的に取り組んだ。令和4年度から毎月、事業所ごとの達成目標に対する達成度を確認し、法人本部まで報告するシステムを取り入れたが、その成果を具体化するところまでは実施できていない。新年度、蓄積されたデータを活用するなどして、事業所ごとに人・物・経費の動向を意欲した運営を進められるように努める。

(4) 優秀な人材確保と人材育成、職場環境の整備

人材確保のためにあらゆる機会を捉えたりフルタイム活動を行うように努めたが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響があり活動が制限された。

(5) コンプライアンスの徹底

例年とおり、事業所運営の基本である社会福祉法、老人福祉法、介護保険法、医療法等については職員研修の場やOJTにおいて周知を図るとともに、労働基準法、労働施策総合推進法等労働関係法規及び育児・介護休業法等の労働環境関連法規についても理解と周知の促進を図った。

(6) 海外交流の実施

令和4年度においても、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の継続等により、ドイツからの学生ボランティアの受入に限定して海外交流を実施した。8月にドイツから大学生4人が来広され、当初のボランティア実施期間を短縮して、でま・くにくさ及びかわ・くにくさにおいてボランティア活動を受け入れた。

(7) 地域貢献・交流事業の推進

地域との交流事業については、中止・縮小を余儀なくされた事業もあったが、コロナ禍においても、介護予防教室への職員派遣や阿戸小学校や中学校の授業への職員派遣、地域での健康相談、地域清掃への協力等については継続実施することができた。来年度はコロナ後を見据えて、より積極的に地域貢献活動を推進していく。

単位：千円

財産目録

単位：千円

事業活動計算書	
サービス活動増減の部	
サービス活動収益	2,334,633
サービス活動費用	2,276,204
サービス活動増減差額	58,429
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益	6,942
サービス活動外費用	13,522
サービス活動外増減差額	△6,579
特別増減の部	
特別収益	13,899
特別費用	6,171
特別増減差額	7,727
当期活動増減差額	59,577
前期繰越活動増減差額	1,602,703
次期繰越活動増減差額	1,662,280

資産の部	金額	負債の部	金額
1. 流動資産	1,421,785	1. 流動負債	311,618
2. 固定資産		2. 固定負債	1,090,669
(1) 基本財産	2,063,902		
(土 地)	(661,724)		
(建 物)	(1,402,178)		
(2) その他の固定資産	215,105	負債合計	1,402,288
固定資産合計	2,279,008	差引純資産	2,298,505
資産合計	3,700,794	負債・純資産合計	3,700,794

単位：千円

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
流動資産	1,421,785	流動負債	311,618
基本財産	2,063,902	固定負債	1,090,669
その他固定資産	215,105		
		純資産の部	
		基本金	283,656
		国庫補助金等	352,568
		特別積立金	
		次期繰越活動収支差額	1,662,280
計	3,700,794	計	3,700,794

社会福祉法人あと会 令和5年3月31日現在

編集後記

風の快い季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスが感染症5類に移行され、はじめての夏、今年も各地で記録的な暑い夏になりました。二ユースで「地球沸騰化の時代が来た」と耳にしましたが、まさしくそのように感じました。

そんな中、くにくさ苑をはじめ、各事業所で恒例の夏祭りを行いました。暑い中でしたが、笑顔や笑い声が終始、聞こえるなど楽しいひと時になりました。また、職員にも記憶に残る夏になったかと思えます。

その他、2面には有料老人ホームででま・くにくさの七夕など、内容濃く掲載させて頂いたので、目を通して頂ければ幸いです。

季節の変わり目です。皆様、お体にはお気をつけ下さい。

くにくさ苑

介護職 武田止登